

第2回 平成28年度

四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展

平成28年10月12日(水)~12月22日(木) 9時~17時 ※11月13日以外の土・日曜・祝日は休館

# 戦国時代の四国



発掘へんろ展は四国内の埋蔵文化財センター5団体が合同で発掘出土品の巡回展を開催し、四国の歴史や遺跡を広く知っていただくもので、平成27年度から4ヶ年計画で四島の遺跡と出土品を紹介しています。

2年目となる今年度のテーマは「戦国時代の四国」で、発掘調査結果をもとに鎌倉時代から安土・桃山時代の城跡の変遷や、当時の生活の様子を紹介し、会場では戦国時代以前・戦国時代・戦国以後の三部で構成し、中世の城館が武士の居館から、軍事・支配の拠点、そして権威の象徴へと変わりゆく様子や、城に現れた地域の特色を、写真パネルや城館から出土した陶磁器・瓦などによりご

## 丸亀城跡 (大手町地区)の 発掘調査

6月から10月まで発掘調査が行われた丸亀城跡(大手町地区)の調査成果の一部を紹介します。発掘調査は丸亀城(亀山公園)の北西に当たる場所で、高松地方裁判所丸亀支部の建設に伴って行われました。丸亀城は慶長二(一五九六)年藩主生駒氏によって亀山の上に築かれましたが、江戸幕府によって出された一國一城令によって廃城となります。その後、丸亀藩が立藩し、山崎家が入封しますが、3代で断絶し、京極家が藩主となり、元禄七(一六九四)年には丸亀藩から多度津藩が分封しました。

江戸時代後半に描かれた絵図をみると、今回の発掘調査地付近は丸亀城下町に当たり、石高の高い家老や多度津藩の初代藩主の屋敷などがあつたところ。発掘調査ではこれらの屋敷の一部と考えられる建物跡や屋敷を区画する溝、井戸跡、便所跡などの遺構がみつかりましたが、多くは18世紀後半から19世紀前半に掘られた多量のゴミ捨て穴によって壊されていました。このゴミ捨て穴は現代風には燃物を捨てた穴で、ゴミの大半は不要になった瓦や陶磁器の破片です。これらを一片ずつ丁寧に掘り出していくと、注目すべき資料が見つかりました。藩主の家紋の付いた瓦です。

写真の瓦は、家紋入りの軒瓦です。「平四ツ目結」(右)は京極家の家紋です。「扇紋」(左)は山崎家の家紋です。山崎家の家紋瓦の出土は丸亀城下町では初めてです。10月15日には現地説明会を行い、これらの調査成果をたくさんの方に見ていただくことができました。

ご覧いただけます。

香川県の遺跡では高松市東山崎町の東山崎・水田遺跡、三豊市・多度津町・善通寺市にまたがる天霧城跡、東かがわ市の引田城跡の写真パネル・出土遺物を展示しています。



備前焼 東山崎・水田遺跡 (香川県高松市)



溝で囲まれた屋敷跡 東山崎・水田遺跡 (香川県高松市)



鳥ぶすま 扇紋



軒平瓦 平四ツ目結紋

※鳥ぶすま…  
鬼瓦の上に乗せる  
円筒状の瓦



10月15日に現地説明会が行われました。後方にみえるのは丸亀城です。



江戸時代後半の屋敷を区画する溝  
南西から撮影 凹みの大部分は18世紀後半から19世紀前半に掘られたゴミ捨て穴です。



岡豊城跡想像復元図(高知県南国市)  
提供:(公財)高知県文化財埋蔵文化財センター



引田城北二の丸の高石垣  
提供:東かがわ市教育委員会



天霧城跡



蔵骨器 円通寺遺跡 (徳島県東みよし市)  
提供:徳島県立埋蔵文化財総合センター

平成28年度 四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展  
戦国時代の四国  
展示品解説  
日時: 11月13日(日) 10時~11時  
場所: 香川県埋蔵文化財センター第一展示室

いにしへの讃岐 vol.91  
香川県埋蔵文化財センター

2016年11月  
発行: 香川県埋蔵文化財センター  
〒762-0024  
香川県坂出市府中町字南谷 5001-4  
tel: 0877-48-2191 / fax: 0877-48-3249  
HP: http://www.pref.kagawa.lg.jp/maibun/  
E-mail: maibun@pref.kagawa.lg.jp